

本書の構成



ご注意

本書は、基本的にお買い上げ時の状態での操作方法を説明しています。*
設定が変更されていたり、他の機能が動作しているときなどは、動作が異なったり、動作しないことがあります。また、本書内の画面は実際の画面表示とは異なります。操作の目安としてご利用ください。

*ただし、操作用暗証番号、管理者用暗証番号が設定された状態を前提としています。

本機をお使いになるための準備や基礎的な知識、基本的な共通操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。

本機の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。

本機で利用できるその他の便利な機能やサービスについて説明しています。

本機の安心や安全に関する機能について説明しています。

本機に保存されるデータ、データの管理方法について説明しています。

データ通信や外部機器との接続について説明しています。

本機の表示や音、ネットワークなどの設定について説明しています。

本機についての資料や各種情報、索引をまとめています。

準備／基礎知識	1
基本操作	2
共通操作	3
電話	4
メール	5
インターネット	6
テレビ	7
カメラ	8
音楽／動画（ビデオ）	9
便利な機能	10
S!アプリ／ブログ／コンテンツ	11
安心機能／セキュリティ	12
データ確認／メモリカード	13
外部機器接続	14
共通設定	15
資料／付録	16

機能の探しかた P.ii

本書の見かた P.iv

目次／付属品 P.vi

パラパラ めくって探す

本機でできることを
見つけましょう。

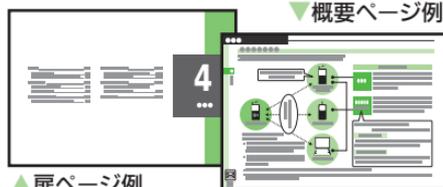
各誌面の内容は説明のための
サンプルです。実際の誌面とは
異なります。

ページの端には機能やサービス名などを記載
しています。気になる言葉を探しましょう。



- 項目の開始ページでは、上の例のように大きく機能やサービス名などを記載しています。以降のページでは小さく記載しています。

章の始まりには、扉ページが付いています。
区切りの目安にしましょう。

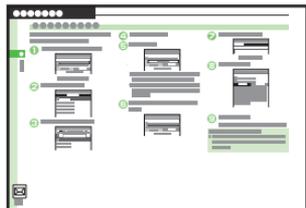


▲ 扉ページ例

- 章の冒頭などには、その章で説明する機能やサービスの内容をまとめた概要ページがあります。ここで全体像をつかんでください。(一部ない章もあります。)

説明ページのレイアウトはいくつかのパターンに分かれています。それぞれのパターンの意味
を覚えておけば、必要な箇所だけを読むことができます。

● 基本操作パターン



機能やサービスの基本操作を
説明しているページです。章の
前半にあります。

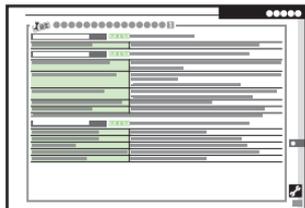
- 上記パターンのほか、各機能やサービスで動作がおかしいときなどに確認する「こんなときは」が各章末にあります。(一部ない章もあります。)

● 応用操作パターン



機能やサービスの応用的な操
作を説明しているページです。
章の後半にあります。

● 設定操作パターン



全般的な設定を説明している
ページです。「共通設定」の章に
あります。

全体像が一覧できる「目次」と、章内の内容がわかる「章目次」を活用しましょう。



▲目次

- 「目次」には、ページ端の機能やサービス名が記載されています。また、各章の扉ページに入っている「章目次」は、章内の内容が詳しく記載されています。目的に応じて使い分けてください。

用語と目的で引ける2つの「索引」で目的の機能や用語をすばやく見つけましょう。



▲用語索引

- 用語があいうえお順に並んでいる「用語索引」と、「閲覧する」「保存する」などの目的別にまとめた「目的別索引」を「資料/付録」の章に掲載しています。ご活用ください。

目的の機能や用語を探す

いろいろな方法で、検索が行えます。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

メニューなどの項目の意味や操作を調べるときは、「メニュー一覧」がおすすめです。



- 「資料/付録」の章の「メニュー一覧」は、本機のメニュー構造に沿って、各項目の掲載ページを記載しています。操作中に気になる項目があれば、ここから説明ページが確認できます。

画面に表示されるマークの意味を知りたいときは、「マークの見かた」をご覧ください。



- 「準備/基礎知識」の章にある「画面とマークの見かた」には、画面に表示されるマークの意味をまとめた「マークの見かた」の項目があります。知らないマークが表示されたときに確認しましょう。

表示やマークの意味を探す

気になる項目やマークを調べましょう。

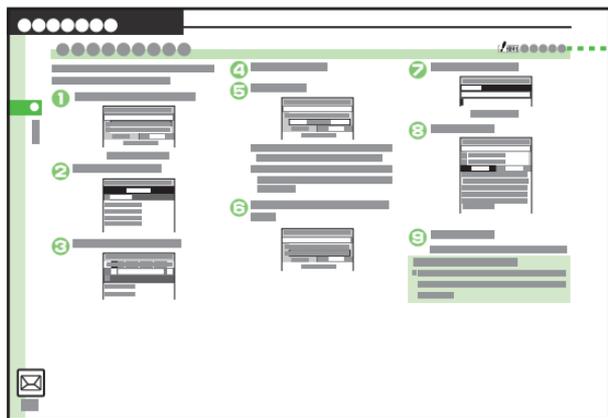
各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

本書の見かた P.iv

目次/付属品 P.vi

基本操作

各機能の基本操作を画面を中心に
にやさしく説明しています。



この機能の応用操作を
知りたいとき

応用操作

各機能の応用操作をボタン操作
中心に簡単に説明しています。



くわしい仕様を知りたいとき

「資料／付録」の章の「仕様」を
ご覧ください。文字数や件数、
時間など、詳細な仕様を確認で
きます。



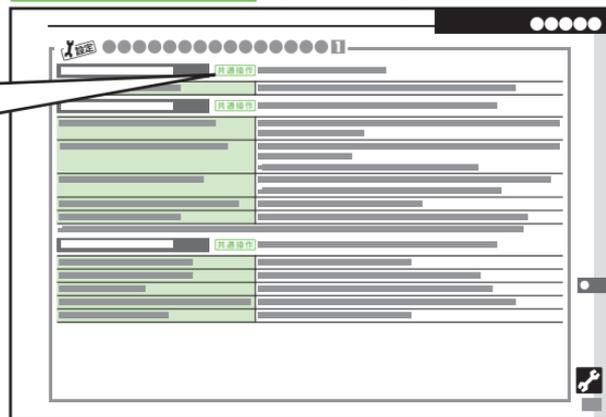
共通操作

あとに続くサブタイトルの操作に共通する操作
を示しています。この共通操作を行ったあと、続
けてサブタイトルの操作を行ってください。

各誌面の内容は説明のためのサンプルです。実際の誌面とは異なります。

設定操作

本機の共通設定操作を表形式で説明しています。



共通操作

表内の各操作に共通する操作を示しています。この共通操作を行ったあと、続けて表内の操作を行ってください。

こんなときは

動作がおかしいときの確認や対応の方法などを説明しています。



よくある疑問や事例を記載しています。

操作にあたってのご注意

- 本書は、特にことわりがない限り、本機を開いた状態（オープンポジション： P.1-2）で、待受画面（ P.1-7）からの操作を中心に説明しています。

本書の構成	i
機能の探しかた	ii
本書の見かた	iv
目次／付属品	vi
安全上のご注意	viii

1 準備／基礎知識

各部の名称	1-2
電池パックの充電	1-4
電源On/Off	1-7
画面とマークの見かた	1-8
暗証番号	1-11

2 基本操作

楽ボタンメニュー	2-2
メインメニュー	2-3
マナーについて	2-4
その他の基本操作	2-5
応用操作	2-6

3 共通操作

共通操作	3-2
壁紙	3-3
着信時動作	3-4
文字入力	3-6
ユーザー辞書	3-11
スマートリンク辞書	3-12
電話帳登録	3-14
電話帳利用	3-17
楽ともボタン登録	3-18
S!電話帳バックアップ	3-20

応用操作	3-23
こんなときは	3-28

4 電話

電話	4-2
音声電話	4-4
テレビ電話	4-7
楽ともボタン利用	4-8
短縮ダイヤル	4-9
通話情報確認	4-10
発着信制限	4-11
オプションサービス	4-13
応用操作	4-15
こんなときは	4-22

5 メール

メール	5-2
メール送信	5-4
メール受信/確認	5-10
メール管理/利用	5-13
楽ともリンク	5-16
メールグループ	5-17
応用操作	5-18
こんなときは	5-29

6 インターネット

インターネット	6-2
Yahoo!ケータイ	6-3
画面操作	6-5
ブックマーク/画面メモ	6-7
応用操作	6-8
こんなときは	6-13

7 テレビ

デジタルテレビ	7-2
応用操作	7-8
こんなときは	7-10

8 カメラ

カメラ	8-2
静止画撮影	8-4
動画(ビデオ)撮影	8-5
画像確認	8-6
特殊撮影	8-7
応用操作	8-9

9 音楽/動画(ビデオ)

音楽/動画(ビデオ)	9-2
音楽再生	9-4
動画(ビデオ)再生	9-5
音楽/動画(ビデオ)管理	9-6
応用操作	9-7
こんなときは	9-10

10 便利な機能

便利な機能	10-2
歩数計	10-3
カレンダー	10-5
目覚まし	10-8
電卓	10-10
地図	10-11
ストップウォッチ	10-14
タイマー	10-15
時報	10-16

メモ帳	10-17
録音	10-18
拡大鏡	10-19
バーコード読み取り	10-20
ラクラク瞬漢ルーベ	10-21
名刺読み取り	10-22
応用操作	10-23
こんなときは	10-33

11 S!アプリ/ブログ/コンテンツ

S!アプリ	11-2
ブログツール	11-3
コンテンツ入手	11-5
応用操作	11-6
こんなときは	11-9

12 安心機能/セキュリティ

安心機能	12-2
セキュリティ	12-5
使用禁止/制限	12-6
ケータイ機能制御	12-8
応用操作	12-9
こんなときは	12-10

13 データ確認/メモリカード

データ確認	13-2
メモリカード	13-5
保存・読み込み	13-8
応用操作	13-10
こんなときは	13-12

14 外部機器接続

赤外線通信	14-2
パソコン接続	14-6
こんなときは	14-7

15 共通設定

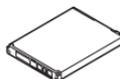
時計の設定	15-2
表示/照明設定	15-3
着信設定	15-4
効果音設定	15-5
通信設定	15-6
初期化	15-7
こんなときは	15-8

16 資料/付録

USIMカード	16-2
電池パック	16-5
ソフトウェア更新	16-7
お手入れ	16-8
故障かな?と思ったら	16-9
文字入力用ボタン	16-11
区点コード	16-13
仕様	16-19
メニュー一覧	16-24
索引	16-28
保証書/アフターサービス	16-35
お問い合わせ先	16-36

付属品

■電池パック (SHBCU1)



■卓上ホルダー (SHEDV1)



- 付属品/オプション品については、お問い合わせ先(☎P.16-36)までご連絡ください。
- 充電器/イヤホンマイクは、ソフトバンクが指定したオプション品を使用してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、電池パック、USIMカード、卓上ホルダー、充電器（オプション品）、メモリカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

本機に使用する電池パック・卓上ホルダー・充電器（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

本機内部・電池パック・卓上ホルダー・充電器を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本機内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。

使用場所、取り扱いにご注意ください。



指示



分解禁止



水濡れ禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。

また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・使用・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

⚠ 警告

本機・電池パック・卓上ホルダー・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・卓上ホルダー・充電器の発熱・発熱・発火・故障などの原因となります。



禁止



禁止



禁止

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉じんの発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。

また、充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉じんの発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
 2. 本機の電源を切ってください。
 3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。
- 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

充電端子や外部接続端子に水やペットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。



指示



禁止



指示



禁止

本機が濡れている状態で充電しないでください。

感電やショートによる火災・故障などの原因となります。



禁止

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・卓上ホルダー・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



禁止

注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下して、けがや故障などの原因となります。振動設定中や充電中は、特にご注意ください。



禁止

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。



指示

けがなどの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

危険

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。失明などの原因となります。



指示

警告

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。

異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

注意

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。

電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。



禁止

本機の取り扱いについて

 警告

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。交通事故の原因となります。

乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。

運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



禁止

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください
電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあるため、航空機内では電源をお切りください。

機内で携帯電話が使用できる場合は、航空会社(の乗務員)の指示に従い適切にご使用ください。



指示

心臓の弱い方は、着信時の振動や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。
落雷や感電の原因となります。



指示

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。



禁止

 注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



禁止

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。(使用材料: P.16-19)



指示

本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



禁止

ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。

本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



禁止

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなる場合がありますので、ご注意ください。
長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



指示

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。



禁止

本機を閉開する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。



指示

デジタルテレビを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。



指示

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。

長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。



指示

卓上ホルダー、充電器（オプション品）の取り扱いについて

警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。熱がこもって火災や故障などの原因となります。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

- ACアダプタ（オプション品）：AC100V～240V（家庭用ACコンセント専用）
- シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災・故障の原因となります。



電源プラグを抜く

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。

指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。



指示

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。感電・発煙・火災の原因となります。



電源プラグを抜く

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

火災の原因となります。



指示

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。

火災などの原因となります。



禁止

充電器をコンセントに差し込むときは、卓上ホルダーの端子および充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショート・火災などの原因となります。



指示

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。



濡れ手禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。

過大な温度と振動により、火災・故障の原因となります。



禁止

卓上ホルダーや充電器（オプション品）は、風呂場や洗面所など湿気のある強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。

火災・感電・故障の原因となります。



禁止

注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



指示

ACアダプタ（オプション品）をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。



禁止

通電中は卓上ホルダーの充電端子に長時間触れないでください。

低温やけどになる恐れがあります。



禁止

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会〔平成9年4月〕）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

警告

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 手術室・集中治療室(ICU)・冠動脈疾患監視病室(CCU)には、本機を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本機の電源を切ってください。
- ロビーなど、携帯電話の使用を許可された場所であっても、近くに医用電気機器があるときは本機の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。



指示

満員電車などの混雑した場所にいるときは、本機の電源を切ってください。付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方がいる可能性があります。電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。



指示

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障、修理などにより本機/メモリアカードに登録したデータ(電話帳・画像・音楽など)や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話やデジタルテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・デジタルテレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やデジタルテレビ映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- メモリアカード(市販)をご利用になるときは、あらかじめメモリアカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

- 傍受(ぼうじゅ)にご注意ください。**
本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
■傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

お取り扱いについて

- 本機の電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機は温度:5℃~35℃、湿度:35%~90%の範囲でご使用ください(風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃~40℃の範囲で可能)。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や電池パックが温かくなる場合がありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様のご取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、画像が変色することがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなり、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などでふいてください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機の画面を堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
 - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
 - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 外部接続端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。

- 電池パックを取り外すときは、必ず電源を切ってから取り外してください。
データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失・変化・破損などの恐れがあります。
- メモ리카ードの使用中は、本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、スピーカーをふさがないようにご注意ください。

機能制限について

本機を機種変更／解約したり、長期間使用しなかったときは、次の機能が利用できなくなります。

- カメラ、音楽／動画の再生、S!アプリ、テレビ

モバイルカメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。

防水／防じん性能について

本機の防水／防じん性能

本機は、端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを取り付けた状態で、IPX5(旧JIS保護等級5)^{※1}、IPX7(旧JIS保護等級7)^{※2}相当の防水性能およびIP5X(JIS保護等級5)^{※3}相当の防じん性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れておくはなりません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

●実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

●本機は、IPX5／IPX7の防水およびIP5Xの防じん性能を有していますが、ホコリ、砂、泥、金属粉、食べこぼし、清涼飲料水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

本機のお取り扱いについて

- 電池カバーは確実に取り付け、端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に細かいゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)が挟まると、水や粉じんが侵入する原因となります。
- 端子キャップや電池カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外してください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布でふき取ってください。
- 手や本機が濡れているときに、電池カバーや端子キャップの開閉は絶対にしないでください。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水のみに対応しています。

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
 - 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
 - 海水、プールの水
 - 温泉、熱湯 など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本体に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどににつけないでください。また、水中で使用しないでください。(開閉、ボタン操作を含む。)
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル/分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。

- サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風はあてないでください。
- 本機は温度:5℃～35℃、湿度:35%～90%の範囲でご使用ください。(風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能。)
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- マイク(送話口)やスピーカー一部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- 電池パック・卓上ホルダー・オプション品は、防水／防じん対応していません。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、マイク(送話口)やスピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。防水／防じん性能が損なわれることがあります。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- ヒンジ部に砂などが入ると、開閉の感触が悪くなったり、異音が生じる恐れがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 電池カバーや端子キャップに劣化、破損があるときは、防水／防じん性能を維持できません。これらのときは、「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。

充電時のご注意

- 充電器・卓上ホルダー・オプション品は、防水／防じんに対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 外部接続端子の端子キャップを開いて充電したときには、充電後しっかりと端子キャップを閉じてください。外部接続端子からの水や粉じんの侵入を防ぐため、卓上ホルダーでの充電をおすすめします。
- 濡れた手で卓上ホルダー・充電器に触れないでください。感電の原因となります。
- 卓上ホルダー・充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

防水／防じん性能を維持するために

- 端子キャップや電池カバー周囲のゴムパッキンは、防水／防じん性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
 - はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
 - 端子キャップや電池カバーのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉じんが侵入する原因となることがあります。
 - 端子キャップや電池カバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、「ソフトバンクショップ」にご相談のうえ、ゴムパッキンを交換してください。
- 防水／防じん性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品を交換することをおすすめします。お客様ご依頼による部品の交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」(P.16-36)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

著作権等について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰でも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにきまして、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作人格権などをはじめとする著作権等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and non-commercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.

Additional information may be obtained from MPEG LA.

See <http://www.mpegla.com>.

This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC.

See <http://www.mpegla.com> for additional details.

本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために (i) AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および/または (ii) AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限り）を復号するラ

イセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C. から入手できる可能性があります。
<http://www.mpegla.com> をご参照ください。



本機は、RSA Security Inc.のRSA® BSAFE™ソフトウェアを搭載しています。RSAはRSA Security Inc.の登録商標です。BSAFEはRSA Security Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。

この製品では、株式会社アプリックスがJava™アプリケーションの実行速度が速くなるように設計したJBlend™が搭載されています。

Powered by JBlend™.

Copyright 1997-2010 Aplix Corporation.

All rights reserved.

JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。

JavaおよびJavaに関連する商標は、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。



microSD, microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

NetFront®

本製品はインターネットブラウザおよびSMILプレーヤとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront SMIL Playerを搭載しています。

Copyright© 2010 ACCESS CO., LTD.

ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。

本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。



Powered by
ADOBE® FLASH®

本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Lite™ テクノロジーを搭載しています。

Adobe Flash Lite Copyright © 2003-2011

Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Adobe、Flash、およびFlash Lite はAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

スマートリンク、アニメビュー、楽ともリンク、まるごと音声パネル、楽ボタン、楽ボタンメニュー、読んだよメール、元気だよメール、スロートークはシャープ株式会社の登録商標または商標です。

着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。

iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.

2008-2011 All Rights Reserved.

「ジーニアスモバイル英和辞典」「ジーニアスモバイル和英辞典」「明鏡モバイル国語辞典」

©2005-2008 Taishukan

「家庭の健康べんり事典」

©Obunsha Co., Ltd. 1987

●「ジーニアス英和辞典MX.net」「ジーニアス和英辞典MX.net」

©KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei & Taishukan, 2009

●「明鏡国語辞典MX.net」

©KITAHARA Yasuo & Taishukan, 2009

●「イミダス百科」©集英社

●「日本大百科全書(ニッポニカ)(ニッポニカ・プラスを含む)」「デジタル大辞泉」「プログレッシブ英和辞典」「プログレッシブ和英辞典」©小学館

●「Amazon.co.jp」は、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。

●「ホットペッパー グルメ」

©RECRUIT

●「家庭医学大百科」

©Houken 2004

●「医者からもらった薬」

©Shigeru Kimura/Iyakuseidokenkyukai 2009

●「Yahoo!知恵袋」

©Yahoo Japan

「らくらく瞬漢ルーベ®」は株式会社アイエスピーの登録商標です。

「待ちうた®」はKDDI株式会社の登録商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

CP8 PATENT

かんたん携帯、S!アプリ、S! GPSナビ、S!電話帳バックアップ、TVコール、インットメモリ、S!メール、フィーリングメール、位置ナビ、写メール、ムービー写メール、安心遠隔ロック、楽デコはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

携帯電話機の比吸収率 (SAR) について

この機種【0085H】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、これが 2 W/kg ※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインと同じ値となっています。

この携帯電話機【0085H】の SAR は 0.309 W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもあります。いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/e/le/index.htm>

社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/>

※技術基準については、電波法関連連発令 (無線設備規則第 14 条の 2) で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

※ボディ (身体) SAR とは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率 (SAR) のことです。

※※比吸収率 (SAR)：6 分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。当社では、ボディ SAR に関する技術基準として、米国連邦通信委員会 (FCC) の基準および欧州における携帯情報掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」【欧州における電波ばく露の影響に関する情報】をご参照ください。

※※※身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装着具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクモバイルホームページからも内容をご確認いただけます。
<http://www.softbankmobile.co.jp/ja/info/public/emf/emf02.html>

「米国連邦通信委員会 (FCC) の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この指針は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、 1.6 W/kg となっています。測定試験は機種ごとに FCC が定めた位置で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は 0.533 W/kg です。

身体装着の場合：この携帯電話機【0085H】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から 1.5 センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCC の電波ばく露要件を満たすためには、身体から 1.5 センチの距離に携帯電話を固定出来る装着具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装着具は、FCC の電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率 (SAR) に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) のホームページ
<http://www.ctia.org> (英文のみ)

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

この携帯電話機【0085H】は無線受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器における SAR 許容値は 2 W/kg で、身体に装着した場合の SAR の最高値は 0.680 W/kg * です。

SAR 測定の際には、送信電力を最大にして測定するが、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。(http://www.who.int/emf) (英文のみ)

* 身体に装着した場合の測定試験は FCC が定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。